

Mランドニュース Vol.147

丹波ささ山校 令和元年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

苦勞だと思っていることは、大して苦勞じゃない。苦勞すれば助けてくれる人が現れる。世の中はそういう仕組みになっている。「遠慮せずに苦勞してください」。

平成26年12月16日

小河 二郎前会長 弊社講話より

感謝



代表取締役会長

小河 吉彦

おかげさまで、弊社は創立五十七周年、また「Mランド丹波ささ山校」となって、十四年を迎えることができました。

このように歴史を刻み、歩んでくることができましたのも、全国からお越し下さるお客さま(ゲスト)、丹波篠山市の皆さま、ご縁をいただいている皆さまの、おかげと感謝申し上げます。五月一日、新元号と共に新生「丹波篠山市」の誕生となりました。

この誕生は、亡き創業者、小河二郎が十四年前に、新しくMランドのグループとしてお迎えする時からの願いでもありました。

生前、小河二郎が「篠山ではない、丹波篠山です」と

言っていたことを思い出し、懐かしく感じるとともに、私自身も新市名を大変嬉しく受け止めております。「丹波篠山」というブランド、伝統を守っていくという酒井隆明市長をはじめ、市民の皆さまの熱い想いを強く感じました。

我々もこれに見習い、創業者の「思想・哲学」を丹波ささ山校と益田校がともに守っていかなければならないと、この度の丹波篠山市の誕生で、想いを強くしたところでございます。

これからも尚一層、社員一丸となり心を寄せ合い、新しい文化を創造し、百年企業を目指してまいります。今後も皆さまのご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

創立記念

五月二十七日、五十七周年を迎え、酒井隆明丹波篠山市長をお迎えし、創立記念式典を行いました。

式典では酒井市長より、新市名により全国から注目されており、これを機にさ

らに「丹波篠山」をブランド化して、農産物や工芸を高めていき、地域の未来を担う若者が定着していきやすい環境づくりを目標としていきたいとお言葉をいただきました。

我々もこれに見習い、創業者の「思想・哲学」を丹波ささ山校と益田校がともに守っていかなければならないと、この度の丹波篠山市の誕生で、想いを強くしたところでございます。



酒井市長からご挨拶いただきました

私たちMランドも地域に役立つ企業を目指して、取り組んでまいります。

成長の人

愛チーム 大澤 竜貴

同志社女子大学の笹生明日香様と、遠藤史佳様。

お二人はジャグリングサークルに所属されており、「私たちにも見せていただけませんか?」とお願ひしました。

お昼休みに、パフォーマンス見たさに集まったギャラリイは、軽快な音楽に合わせて

繰り広げられる「技」に魅了されていきました。

その後、お二人から感想文をいただきましたので、ご紹介させていただきます。



(左)遠藤様、(右)笹生様

私たちは、以前にMランドでジャグリングを披露された先輩方の紹介で、Mランドと出会うことができました。

先輩方と同じMランドで特技披露でき、温かい拍手をくださったことが本当に嬉しかったです。これをきっかけに仲良くなった方もいて、「免許を取る」という目的以上の体験も、させていただくことができました。

いつか私たちの演技も、誰かとMランドをつなぐ架け橋になってくれたら嬉しいです。関わってくださった皆様に心から感謝いたします。

お二人のおかげで、Mランドにさわやかな風が吹いた時間となりました。

私とMランド

副管理者 谷口 健

「Mランド人になった日」

平成十七年七月七日、研修のため、私はこの日初めて益田の地を訪れました。すべてが、経験したことのないものばかりで、驚きの一言でした。

その中でも、心を動かされたのは、トイレ掃除でした。素手素足で行い「これがトイレ掃除か」と胸が熱くなり、これほど感動したのは人生で初めてでした。

感想を述べたとき、小河前会長に「今感じている熱い気持ちで、仕事に取り組んでください」と言われました。この瞬間、私は「Mランド人」として歩み出そうと心に決めました。

いつまでもこの日を忘れず、成長を続けていきます。



おかえりなさい

やわらぎ
愛チーム 岸 恒三郎

五月十八日(土)、地元の卒業生を対象に、交流会を開催しました。

まず、Mランドに人が集まれば「掃除」。三つのグループに分かれて一時間半にわたり、街のゴミ拾いをしました。自動車教習所を卒業されたゲストや、そのご友人とともに、「ゴミ拾い」ができることに、感謝の気持ちでいっぱいになります。



いいドライバーになってくれるでしょう!

清掃後には、インストラクターが、腕によりをふるって作ったカレーを全員でいただきました。

カレーは「おいしいー」と好評価をいただきましたが、「このおいしさは、皆さんが

朝から汗を流し、掃除をしてくれたからですよ」と、お話ししました。



手作りカレーにご満悦

心もお腹も満たされた皆さんに、一度は憧れるバイクの魅力を、体験していただきました。

風をきって走るバイクに感動し、楽しまれているようすは、一目瞭然です。

自動車教習所は、卒業すると縁のないところになってしましますが、いつでも「おかえりなさい」といえる、Mランドでありたいと思っております。

サイクルフェスタ

責任者 南勝 宏幸

五月十九日(日)、爽やかな晴天の中、サイクルフェスタを開催させていただきました。できました。

交通事故ゼロを目指し、今年も「自転車」、「ロードバイク」、「自動二輪」のセクションに分け、日常生活の中で「楽しく安全に、二輪車に乗っていただきたい」という願いを込めて実施しました。

自転車教室では、市内小学生約五十名が参加され、「止まる、見る」というテーマについて一緒に考えました。



注意するのは、前だけじゃないよ!

さまざまな工夫を凝らしたコースで、楽しみながらも「止まる」ことの大切さや、「見る」ことの大切さを、肌で感じていただいているようです。

自転車教室を修了された皆さんには、これからの安全運転を約束していただき、その証として「自転車運転免許証」を交付しました。子どもたちは、誇らしげに免許証をお父さんやお母さんに見せていました。



運転の難しさを知ることも大切

セーフティースクールでは、自動二輪を運転される方々に、愛車で現在の技量を知っていたくため、いくつかの課題にチャレンジしていただきました。

何でも長年やっている、「これくらい」とか、「楽にやっちゃおう」と、自己流になってくるものです。



「模範ライダー」になってね!

体や命に関わる乗り物ですので、「初心忘るべからず」のこころざし通り、基本に立ち返ることは、本当に大切なことと言えます。皆さんにとっ

ですが、自分を見つめなおす良い機会となれば幸いです。今年で三回目の開催となるロードレーサーマイスター。

交通事故撲滅を目指し、「社会に貢献できる模範ロードレーサーの育成」をテーマに、トライアスロンチームブレイブ総監督八尾彰一様と、毎年研修内容を検討し、開催しています。



鍛え抜かれたしなやかな走り

今回は、集団走行時のコミュニケーションやローテーションの方法などを撮影し、参加者で討論を行いました。自転車といえども、れっきとした交通社会の一員。

走り方についての話し合いは白熱し、皆さんの姿勢や熱い気持ち伝わってきます。講習会の最後には、お一人おひとり「私の誓い」と題し、交通安全への宣誓文を作成し、自ら実践していくことも決意されました。

編集後記

今年もサイクルフェスタ参加者から、「勉強になった」「ありがとう」ということばもいただき、皆さんのお役に立てたことに、喜びを感じた一日となりました。

創立記念日は勝手にやってくるものではなく、多くの人々の支え、私たちの日々の姿勢のあり方よって迎えられることを、今年も考えさせられました。(徹)



全員で記念植樹をしました

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

6/9(日) 八上小学校 東トイレ
(AM8:00~9:00 担当:前川)

6/30(日) 篠山中学校 運動場トイレ
(AM8:00~9:00 担当:中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。